

岩国市長 福田良彦 殿

2017年11月27日

市民政党「草の根」

代表 井原勝介



ミサイル攻撃への対応について（要請）

北朝鮮を巡る緊迫した情勢が続く中で、米軍基地を抱える岩国市においては、ミサイル攻撃に対する市民の不安が高まっている。そこで、岩国市国民保護計画に基づき、市民の安全を守るための対策が有効に実施されるよう、下記の通り、要請する。

記

1. 住民の避難誘導について

武力攻撃事態等の認定が行われた場合で、ミサイル攻撃などの危険が差し迫っている場合、或いは実際に攻撃が始まった場合などには、国や県の指示により、岩国市が、警報の伝達、住民の避難誘導等を行うことになっている。そのために、県により、公民館や小学校など市内96箇所が避難所として指定されている。

いざという時に避難誘導が混乱なく効果的に行われるよう、予め、避難所の所在地や名称なども含む避難誘導の方法について、市民に周知徹底を図ること。

2. シェルターの整備について

事態の長期化に備えて、子供たちの安全を優先し、また基地周辺などの地域の危険性なども考慮しながら、シェルターの整備を計画的に行うこと。

3. 自主避難について

実際に紛争が発生しミサイル攻撃の危険性が生じた場合には、武力攻撃事態等の認定が行われていない場合であっても、基地周辺を中心に、不安にかられた市民が自主避難を始める可能性がある。そうした場合に、市民の避難が安全かつ効率的に行われるよう、自主避難施設の開設など必要な対策をとること。